

学校図書館 × 市立図書館コラボ展示

参加校報告集
令和3年度 天草市立図書館

はじめに

今日、私たちを取り巻く社会はめまぐるしく変化しており、子どもたちの生活にも様々な影響を与えています。子どもたちがこのような社会の中で生きていくためには、豊かな心と生きる力が必要になります。子どもの読書活動は言葉を学び、感性を磨き、思考力・表現力を高め、創造力を豊かにし、子どもたちの成長を助けてくれます。学校における学校図書館の存在は、児童生徒・教職員のための学習センター・読書センター・情報センターとして重要な役割を持っています。天草市立図書館は「天草市子ども読書活動推進指針」の中で、これからの未来を担う子どもたちのため、学校図書館との連携を深めることとしています。

今回、学校図書館の働きや活動・課題などを多くの市民の皆様にご存知いただくため中央図書館に学校図書館紹介の場を設置し、9校の小中学校にご参加いただきました。学校での重要な活動拠点として、学校図書館は運営されている関係職員の細やかな努力により、学習の場だけでなく、子どもたちにとって欠かせない交流の場であり居場所にもなっています。様々な場面で子どもたちと関わる図書館の存在を、多くの方に知っていただく機会になったことと思います。

ご多用のなかに情報を提供していただいた学校司書の皆様、関係職員の皆様に感謝申し上げます。

天草市立図書館

★天草市立図書館では「天草市子ども読書活動推進指針」により、子どもの読書活推進のための具体的な取り組みを以下のとおり定めています。(抜粋) 学校の関連部分を黄色で示しています。

(1) **子どもの読書活動推進に関する施設の整備・充実**

◆ 市立図書館の整備・充実

- 図書室の整備
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた、子どもが過ごしやすい図書館づくり
- 日本語を母語としない子どもたちや、障がいのある子どもたちの読書環境の整備
- 通常の読書が困難な子どもや保護者のための、読書ツールの充実
- 子どもたちが利用しやすいホームページの作成や読書案内
- 保護者への情報提供のためのSNS活用



◆ その他の施設の整備・充実

- **学校図書館の整備・充実**

(2) **学校やボランティアなど、子どもの読書に関わる大人の連携の推進**

◆ ボランティア

- ボランティアの技術向上と交流のため、ボランティア交流会の開催や定期的な学習会の実施
- ボランティアと図書館が連携できる体制づくり
- 子どもボランティアの育成

◆ 教育機関

- **小中学校と高校の学校司書、図書館と連携できる体制づくり**
- **図書館から小中学校への読書情報の提供と共有**



「天草市子ども読書活動推進指針」より抜粋

「学校図書館×市立図書館」コラボ展示募集要項

1. 趣 旨

文部科学省の掲げる「社会に開かれた教育課程」実現のために、学校内の学習・情報センター機能を持った学校図書館を家庭や地域に広報することで、子どもたちを取り巻く環境の情報を共有し、新たな連携や協同を生み出す。

2. 実施期間

令和3年10月～令和4年3月末日

・ 1回目

募集：令和3年9月末日

展示：令和3年10月上旬～1か月程度

・ 2回目

募集：令和3年12月末日

展示：令和4年1月上旬～1か月程度

3. 展示会場

天草市立中央図書館（浄南町4番15号 天草市複合施設こころす2階）

4. 対象学校

市内小中学校

5. 展示内容

「①学校概要（担当者名含む）」「②学校図書館概要、特徴」「③年間の授業や活動の様子」「④課題や展望」等をデータにより提出し、市立図書館にて大型パネル化（A1～A2サイズ程度）し中央図書館内に展示する。

（雛形参照）学校図書館やICT教育に関する図書も併せて展示する。

6. その他

この展示は、令和3年4月より開始された「図書館コラボ展示」事業内で「学校図書館×市立図書館」コラボ展示として行う。

展示終了後は、市立図書館ホームページにて展示アーカイブとして掲載する。

【展示の様子】

- 1回目参加校 （令和3年10月16日～11月14日）
本渡北小学校・本町小学校・新和小学校



中央図書館の来館者数は、開催期間中の1回目は9,690人、2回目は8,531人でしたので、この展示ブースが多くの皆さんにご覧いただくことができたと思います。写真撮影される方もいらっしゃいました。



- 2回目参加校 （令和4年1月8日～2月6日）
本渡南小学校・新和小学校・新和小学校・河浦小学校
有明中学校・栖本中学校



本渡北小学校

ようこそ！本渡北小学校図書室へ

学校図書館長名	(校長名) 酒井 武志	児童数 811名 29クラス
司書教諭または図書担当	(教諭名) 田中優子	(学校司書) 武藤仁美

玄関から左に曲がって
いくと図書室があります



利用指導をしてから貸し出しスタート



蔵書冊数 7930冊

令和2年度購入冊数338冊

貸し出し冊数52310冊(平均65冊)

1年生も借り方上手に
図書委員もピッと手際よく。



国語の授業と平行読書



中央図書館からたくさん
貸し出してもらいます。

図書委員会主催のイベント
～9月 しおりコンクール～



4年「ごんぎつね」
新美南吉作の本

3年「ちいちゃんのかげおくり」
同じ時代 戦争のころのお話

新聞コーナー

先生方から
おすすめの本の
プレゼント

R2年12月



北小校区にお住まいの
青木さんからいただいた
手作りのしおりは
読書月間のごほうびに
なっています。



あっ〇〇先生のおすすめだ！と人気の本になりました。

児童数に対して広さも図書も十分とはいえませんが、行きたい楽しい場所にするこ、読みたい本を借りられること、ネットを使った調べ学習がスムーズにできるような支援をやっていくことを目指しているところです。

本町小学校

天草市立本町小学校図書館紹介

学校図書館長名	野中 文雄	
司書教諭または図書担当	矢住 美亜	
学校司書	吉永 新菜	

【 概要 】

学校概要	児童数	70人	沿革	明治8年創立、平成元年親子20分読書の成果発表、平成20年読み聞かせサークル「むくろじ」発足			
	クラス数	8		令和2年度購入数	118冊	児童生徒一人あたりの蔵書数	57冊
	蔵書数	4014冊					

【校内読書旬間の取組】 令和2年10月30日～11月13日

1 各学級での取組

- (1)学級のため設定・・・学級のためを記入し、教室の入口の学級札に貼った。(目標冊数・ページ数など)
- (2)親子ふれあい読書・・・読書循環の期間中3日間、家族で本を読む時間(親子読書デー)を設定した。(家庭への文書配布)

2 職員による読み聞かせの実施

朝自習の時間(8:15～8:25)に職員が交代で読み聞かせを実施した。



3 図書委員会による取組・・・本に興味をもってもらうために、クイズやゲームを実施した。

- (1)読書スタンプラリー・・・読書冊数によりカードにスタンプを押していった。
- (2)しおり釣りゲーム・・・(1)のスタンプの数に応じて釣りゲームのチケットを渡し、しおり釣りに挑戦した。
- (3)読書感想画コンクール・・・お薦めの本の紹介を感想画として募集した。
- (4)放送クイズ・・・昼の放送時に、本に関するクイズを出題した。



しおり釣りゲームの様子

【読み聞かせサークル「むくろじ」による読み聞かせ】

「むくろじ」は、現在20名で活動している本町地区の読み聞かせサークルである。本町小には、毎月第2・4火曜日の8:15～8:25の10分間、交代で各学年1名ずつ入れ、学年に応じた本の読み聞かせをしていただいている。いろいろな種類の本に親しむことができ、児童も毎回楽しみにしている。



「むくろじ」のメンバーの方による読み聞かせの様子

【CS支援員の方による、授業中の読み聞かせ】

CS(コミュニティー・スクール)支援員の方に、国語における導入やまとめの時の朗読、道徳における資料の読み聞かせ等をしていただいている。

今年度は、1学期に2年、3年、4年でそれぞれ実施していただいた。今後も全学年で実施する予定である。



4年国語「一つの花」



2年道徳「いなばの白うさぎ」

課題、展望

児童数に対して蔵書数は多く、図書室の広さも充分であり、児童が集いやすい環境といえる。しかし、児童が手に取る本には偏りが見られる。週に1回、学校司書による図書室にある本の校内放送による読み聞かせや、国語の学習で行う並行読書を広げるなどして、児童が様々なジャンルの本に親しむ機会を増やしているところである。

新和小学校

～新和小学校図書館紹介～

学校図書館長名	(校長) 左村 良一	令和3年度 児童数 90名 クラス数 7クラス 令和元年度の2学期より、ナノシステムでの蔵書管理を開始
図書担当	(教諭) 末田 洋子	
学校司書	岩本 麻里	

令和2年度
 ☆蔵書冊数 4,938冊 ☆購入冊数 134冊
 ☆児童生徒一人あたりの蔵書冊数 約56冊
 ☆貸出冊数 10,372冊
 ☆1人あたり平均貸出冊数 106冊



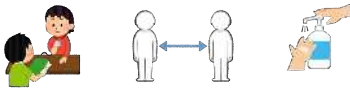
☆レファレンス利用状況 令和2年度 40回
 ☆令和3年度 29回(9月現在)
 ☆国語の時間など、少しでも時間があれば本の貸出や読書時間に図書室を利用しています。また、調べ学習などでも積極的に図書室を利用しており、必要な情報や資料を探すときは、気軽に図書室にきています。



読書活動の様子



図書室オリエーションをして、利用開始!



季節や行事に合わせた掲示

6月POP作り
スタンプラリー



10月クイズラリー
貸出スタンプラリー
チケットおみくじ

2月クイズラリー
好きな本総選挙
(昨年度の写真)



今は10月の読書
月間に向けて準備
しています!



蔵書整理を経て冊数が減ったため、少しずつ蔵書を増やしているところです。
 貸出冊数に比べ、読破冊数に個人差があるので、1人1人に合わせた読書の案内、読書相談、そして子どもたちが本と親しめるような楽しい読書活動をこれからも丁寧にしていきたいと思っています。

本渡南小学校

本渡南小学校

学校図書館紹介

【学校及び学校図書館概要】

学校図書館長：兼田 恭宏 校長
図書担当教諭：田中 加代
学校司書：松崎 志穂
児童数：465名（19クラス）
蔵書冊数：10713冊
令和2年度購入冊数：211冊
令和2年度貸し出し冊数：18060冊（平均40冊）



目指す学校図書館（こんな図書館に!!）

- ①児童が読書をしたり調べ学習や自主学習をしたりする際に、落ち着いて取り組める学校図書館。
（読書センター、学習センター、情報センターとなる学校図書館）
- ②児童が本のおもしろさにふれ、新たな世界を知るきっかけを作れる学校図書館。
- ③児童みんなの心の居場所となる学校図書館。

分かりやすい掲示の工夫

*「日本十進分類法」と合わせた10色のラベル分類。

図書館の本は「日本十進分類法」で10種類のジャンルに分けられていることを視覚的に示すため、天草市の小中学校では本の背ラベルの色を10色に色分けをしています。遠くからでも分類棚がわかるように、棚の上にも分類番号と色を表示しています。



〈棚の上の図書分類表示〉

表示のカラーはラベルと合わせています。



〈本の背ラベル〉

黒、黄緑、灰色、黄色、緑、茶色、赤、紫、桃色、青の10色です。

居心地のよい空間作り

*明るく楽しい雰囲気の展示や本の紹介コーナー、季節を感じられる掲示を心がけています。



〈給食週間コーナー〉



〈季節の本の紹介と展示〉
掲示板でアドベントカレンダーを掲示し、
そこで紹介した本を窓際に展示しました。

学習を支える工夫

*学校司書が学習で利用する資料収集提供や授業支援を行っています。本年度は中央図書館の司書の方にもご協力いただき、出前授業をしていただきました。



〈学校司書の授業支援の様子〉



〈出前授業の様子〉



〈教科書に掲載されている本のコーナー〉
国語の並行読書で活用されています。

読書意欲を高める工夫

*図書委員会が主となってイベントを開催しています。



〈秋の読書まつりの様子〉



今年は、たくさん本を借りて読んでくれた人が参加できる屋台を開きました。左から、磁石のボードゲーム、トランプくじ、ガチャガチャです。景品は、しおり、予約券、2冊券と3冊券（貸し出し冊数が増える券）でした。

有明小学校

有明小学校図書館紹介

学校図書館長名	(森下 和代)	学校概要 児童数187名、全8クラス 蔵書7629冊、令和2年度購入数129冊、児童一人あたりの蔵書数41冊
司書教諭または図書担当	(阿部 浩子)	
学校司書	(小坂 陽子)	

【年間の取り組み】

各学年に合った本を課題図書として選書しています。達成した人はみかんカードを課題図書の木に貼って実らせていきます。



【授業利用状況】

担任の先生方に声かけをしているので授業利用は増えています。並行読書で利用される本は児童数分を揃えています。他学年にもどんな学習をしているのか分かるように、単元名を付けて資料を教室へ移動しています。



【その他】

図書バッグ利用率を上げるために、昨年度はマイバッグキャンペーンを1年かけて行いました。少しずつですが低中学年を中心に定着してきました。

【なりきり絵本作家コンクール】

好きな絵本の続きを想像して書きます。同じ本を選んでも、それぞれ違った発想で面白かったです。コメントをそえて掲示しました。



【秋の読書うんどうかい】

本を借りたら、赤白別れて玉入れのかごにシールを貼っていきました。なぜかかごの上にシールが集中してしまいましたが、楽しそうに競争しながら貼ってくれました。



【コラボ給食】

栄養教諭とアイデアを出し合いながらテーマを決めています。



【展示、掲示】

季節が感じられるような館内の雰囲気作りを心がけています。掲示を変えると会話のきっかけになることが多いです。



ガイコツがこわいという感想がありました。



日が差す時間帯はとてもきれいです



暖炉に手をかざす人がいて、和やかな時間を過ごせました。



時季、話題になっているものなどを特集しています。

課題、展望など

授業に役立つ図書館作りをめざしています。今以上に授業支援の充実、サポートができたかと考えています。絵本から読み物への移行をスムーズにできるような工夫、選書が必要だと感じます。

栖本小学校

河浦小学校

天草市立河浦小学校図書館紹介



学校図書館長	伊津野隆之
図書担当教諭	吉田佳央
学校司書	浪崎直美

児童数	127名
蔵書数	7,135冊

とっても明るくて
とっても広いです！！



壁がほとんどない造りです。ゆるくカーブしたパノラマの窓からは季節の風景が楽しめます。廊下側は透明なアクリル折戸で、図書室内の様子が見えるようになっています。

学習スペースは写真の手前側と奥側の2カ所あります。資料を広げてゆっくり学習できます。



読書月間は学期ごとに実施しています。
チャレンジ成功者にはくじ引きチャンス！

有明中学校

有明中学校図書館紹介

学校図書館長名	(益尾 慎吾)	学校概要 生徒数85名、全3クラス 蔵書5982冊、令和2年度購入数86冊、生徒一人あたりの蔵書数70冊
司書教諭または図書担当	(入江 裕治)	
学校司書	(小坂 陽子)	

【概要】

【展示・掲示】

季節感が出るように心がけています。



【コラボ給食】

特設として「歴史を味わい、歴史を知ろう」というテーマで歴史上の人物がどのようなものを食していたか豆知識をちりばめながら展示し給食では歴史ごはんを、物語からは「妖怪アパートの憂鬱な日常」のり子さんが作る料理を再現してもらいました。栄養教諭とアイデアを出し合いながらメニューを考えます。



【読みきかせ】

小学校へ出向き、1, 2年生に読みきかせをしていました。今はお休み中です。



【ポップ作り】

授業で作成したポップとおすすめの本を展示しました。



課題、展望など

読書への興味関心を持ってもらい、学校図書館へ足を向けてもらうための工夫が必要だと思います。

栖本中学校

